

血液内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	JALSG 参加施設において新規に発症した全 AML、全 MDS、全 CMML 症例に対して施行された治療方法と患者側因子が 5 年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究（前向き臨床観察研究）-JALSG AML/MDS/CMML Clinical Observational Study (JALSG-CS)-17-
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	血液内科
研究責任者	血液内科 助教 後藤 峰明
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	研究代表者：国立病院機構仙台医療センター血液内科 横山寿行 日本成人白血病共同研究グループ（JALSG）参加施設については JALSG ホームページを参照して下さい。（ http://www.jalsg.jp/facility ）
研究の意義・目的	急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病の 5 年生存率を明らかにし、合併症及び用いられた治療内容が生存率に及ぼす影響について検討を行います。
対象となる患者さん	2018 年 3 月から 2021 年 3 月までに当院で急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病と診断された患者さん
研究の方法	収集する情報は、個人情報が出られないよう匿名化され、暗号化されたインターネット通信により JALSG データセンターに送付、保存されます。JALSG データセンターに収集された情報は、パスワード保護されたサーバー上に匿名化された情報として保管されます。その管理は個人情報の取り扱いに準じて行われています。また必要な場合は、治療を行っている施設においてのみ匿名化された情報から個人が識別できるようになっていますが、その照合を行う方法は外部に漏れることのないよう厳重に保管されます。本研究の研究内容は、どなたでも JALSG ホームページから閲覧可能です。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2026 年 4 月 30 日
研究に用いる試料・情報	イニシャル、生年月日、年齢、性別、診断病名、診断日、診断時採血検査データ、骨髄検査データ、診断時染色体データ、治療開始前併存症、治療方法、同種造血幹細胞移植に関するデータ、治療効果、予後、再発の有無など。
外部への試料・情報	「研究の方法」に記載の通り。

の提供	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 内科学講座（血液内科） 担当者：助教 後藤 峰明 電話 0561-62-3311（内線 77195）